

## 『第12回 教育と安全フォーラムinひろしま』を終えて

実行委員長 宮田 晶子

第12回となる本フォーラムは、今年も広島県内外から多くのご参加をいただき、実りある研修として盛会に終了することができました。

今回は、午前には、中央教育審議会教育振興基本計画部会臨時委員のくらしき作陽大学子ども教育学部長 高橋香代教授から「第3期教育振興基本計画と安全教育」と題してのご講演において、教育振興基本計画の策定及び学校の安全教育の充実について、さらに学校における取組等具体的例も交えて示していただきました。一人一人が安全で安心な生活や社会づくりに必要な資質・能力を育んでいくことの必要性のご教示いただいた内容でした。

また、体験交流では、参加者が11グループに分かれ、緊急場面での判断や対応に反省や課題が残った事例、組織として機能するための手立て等を中心に“ひやり ハット”体験を共有し交流を深めました。学校が日々抱える大きなテーマでしたが、参加者の方々からの様々な事例に対して、助言の先生方から、丁寧な指導・助言をいただき、事故防止の取組と教育、いざというときに機能する緊急体制の在り方、研修・演習を継続していくことの必要性など、多くのご示唆をいただき、参加者の皆様の危機意識や資質の向上に繋がったと確信しております。

さらに、午後は、岡山大学法務研究科 南川和宣教授より「学校事故とその対応 一判例から学ぶ」と題してのご講演をいただき、学校事故に関して法的観点から、それぞれの立場における義務と責任について、学校事故の裁判例から具体的にお話をいただきました。また、危機管理の視点からもご教示いただきました。おかげをもちまして、予想以上の成果を収めて終了することができましたこと、心より感謝申し上げます。

多くの参加者に実行委員も交わり、学校安全について協議することができましたことは、ご参加いただきました皆様方とともに、日々の執務の見直しと今後の教育実践に向け、大変有意義であったと感じています。

今後も学校の安全文化の創造に向け、スタッフ一同、参加者の皆様方と共に研鑽を重ねたいと強く心に受け止めてまいります。改めて本フォーラムにご参加、ご協力いただきました皆様に、心より感謝を申しあげ、報告とさせていただきます。

### 会場の様子（グループ別体験交流）

